



TITLE:

Library Service News No. 81

AUTHOR(S):

京都大学附属図書館情報サービス課

CITATION:

京都大学附属図書館情報サービス課. Library Service News No. 81.
Library Service News 2001, 81

ISSUE DATE:

2001-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/190870>

RIGHT:

京都大学附属図書館 情報サービス課

Library Service News

●記事についてのお問い合わせは●

Tel. カウンター
 参考調査掛 (753-2636) 7
 資料運用掛 (753-2632) 2~4
 雑誌・特殊資料掛 (753-2640)
 相互利用掛 (753-2638) 6

- 開館日程表
- 冬季休暇中の長期貸出のご案内
- 共同研究室1を開放します
- 点字辞書を移動しました
- 相互利用のお申し込みはお早めに
- “Encyclopedia of Life Science”が来年9月まで利用できます
- Web版e-HRAFの全学利用は今年末までです！
- 引用文献の検索ならこれ！“Web of Science”をご利用ください
- 好評開催中！『OPAC基礎講座』
- <シリーズ> 特殊文庫あれこれ —各論編—



●開館日程表

11月	開館時間	12月	開館時間	1月	開館時間
1(木)	9:00~21:00	1(土)	10:00~17:00	1(火)	年末年始休館
2(金)	〃	2(日)	〃	2(水)	〃
3(土)	休館日(文化の日)	3(月)	9:00~21:00	3(木)	〃
4(日)	10:00~17:00	4(火)	〃	4(金)	休館日(図書整理等のため)
5(月)	9:00~21:00	5(水)	〃	5(土)	〃
6(火)	〃	6(木)	〃	6(日)	休館日
7(水)	〃	7(金)	〃	7(月)	9:00~17:00
8(木)	〃	8(土)	10:00~17:00	8(火)	9:00~21:00
9(金)	〃	9(日)	〃	9(水)	〃
10(土)	10:00~17:00	10(月)	9:00~21:00	10(木)	〃
11(日)	〃	11(火)	〃	11(金)	〃
12(月)	9:00~21:00	12(水)	〃	12(土)	10:00~17:00
13(火)	〃	13(木)	〃	13(日)	〃
14(水)	〃	14(金)	〃	14(月)	休館日(成人の日)
15(木)	〃	15(土)	10:00~17:00	15(火)	9:00~21:00
16(金)	〃	16(日)	〃	16(水)	〃
17(土)	10:00~17:00	17(月)	9:00~21:00	17(木)	〃
18(日)	〃	18(火)	〃	18(金)	〃
19(月)	9:00~21:00	19(水)	〃	19(土)	10:00~17:00
20(火)	〃	20(木)	〃	20(日)	〃
21(水)	〃	21(金)	〃	21(月)	9:00~21:00
22(木)	〃	22(土)	10:00~17:00	22(火)	〃
23(金)	休館日(勤労感謝の日)	23(日)	〃	23(水)	〃
24(土)	10:00~17:00	24(月)	休館日(振替休日)	24(木)	〃
25(日)	〃	25(火)	休館日(図書整理等のため)	25(金)	〃
26(月)	9:00~21:00	26(水)	〃	26(土)	10:00~17:00
27(火)	〃	27(木)	〃	27(日)	〃
28(水)	〃	28(金)	〃	28(月)	9:00~21:00
29(木)	〃	29(土)	年末年始休館	29(火)	〃
30(金)	月末休館日	30(日)	〃	30(水)	〃
		31(月)	〃	31(木)	月末休館日

●学外者の受付は、平日の9時~17時です。事前に照会のうえ、必ず身分証明書をお持ちください。(土・日曜日および平日17時以降は受け付けません。)
 学外者の利用ガイドを発行しましたので、ご利用ください。

お問い合わせ先: 資料運用掛(753-2632/2633)

● 冬季休暇中の長期貸出のご案内

開架図書	12月10日(月)～12月23日(日)
庫内図書 院生・教職員	11月24日(土)～12月14日(金)
学部生	12月10日(月)～12月23日(日)

返却期限日は、いずれも平成14年1月15日(火)です。貸出期間の更新はできません。
(雑誌は対象外です。)

資料運用掛

● 共同研究室1を開放します

11月1日(木)より、3階にある共同研究室2室のうち第一室を常時閲覧席として開放します。

利用時間 月～金 9:00～16:45

ただし、教官の方がグループスタディ等での利用を希望される場合は、そちらを優先します。
なお、教官・院生の方は研究個室(7室、利用時間 月～金 9:00～16:45)が利用できます。
利用を希望される方は平日の9:00～16:45にカウンターまで申し出てください。

資料運用掛

● 点字辞書を移動しました

2階西側書架南端に配置してありました点字辞書を、2階北側書架の中ほど(片田寄贈図書と洋書の間)に移動しました。
この資料の利用についての問い合わせはカウンターまでお願いします。

資料運用掛

● 相互利用のお申し込みはお早めに

文献複写や相互貸借を他大学に依頼ご希望の方は、なるべくお早めにお申し込みください。
毎年11月、12月はどの大学も依頼受付が多くなり、入手に時間がかかります。
特に卒論、修論などの締め切り間近の方は、時間的余裕をもってお申し込みください。

相互利用掛



● “Encyclopedia of Life Science”が来年9月まで利用できます

Nature Pub. Groupが提供するオンライン事典“Encyclopedia of Life Science”が、2002年9月30日まで利用できるようになりました。どうぞご利用ください。

<http://www.els.net/els/els/els/index.html>

参考調査掛

● Web版e-HRAFの全学利用は今年末までです！

附属図書館でCD-ROMを提供しているeHRAF(electronic Human Relations Area Files)のWeb版が、今年の年末まで全学で利用可能なのはご存じでしたか？
文化人類学・比較文化関連のユニークなデータベース、e-HRAFのWeb版をこの機会にぜひお試しください。

<http://ets.umd.umich.edu/e/ehrafe/>

参考調査掛

● 引用文献の検索ならこれ！ “Web of Science”をご利用ください

“Web of Science”は、人文・社会・自然科学の全ての分野にわたる、引用文献データベースです。「この論文がどういう論文を引用しているか」「どういう論文に引用されているか」を知ることができます。
例えば、ご自分の書かれた論文の中でどれが最も引用されているか、あるテーマで最も影響力のある論文はどれか等が、簡単に検索できます。
また、引用文献を次々とたどっていくことで、研究の流れをつかんだり、今まで見逃していた関連論文を見つけたりすることができます。
現在は、1986年から最新(毎週1回更新)のデータが収録されていますが、「引用された文献」の検索は、それ以前の年代も可能です。
また、本学契約分の電子ジャーナルへのリンク機能も追加されました。
提供会社作成のマニュアルも各種用意しています。
使い方次第で研究に非常に役立つ“Web of Science”をどうぞ大いにご利用ください。

<http://ddb.libnet.kulib.kyoto-u.ac.jp/lusr/wos.html>

(電子図書館から学内向けサービスに入って、「データベース」をクリックしてください。)

参考調査掛



● 好評開催中！『OPAC基礎講座』

10月からスタートした『OPAC基礎講座』ですが、11月以降も引き続き開催します。
「OPACって何？」という方はもちろん、「OPACなんて知ってるよ」という方も、
基本をしっかりと理解して、効果的な検索をしましょう。1回30分程度、一日おきに実施します。
予約は不要ですので、開始5分前までに⑦番(参考調査)カウンター前にお越しください。
詳しい日程は、館内各所の掲示または下記のURLをご覧ください。

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/LSN/opac.html>

参考調査掛

● <シリーズ> 特殊文庫あれこれ —各論編—

(1) 河合文庫

附属図書館所蔵河合文庫は、文学博士河合弘民氏の遺族である田中道夫氏より1919(大正8)年購入した旧蔵書793部2160冊、古文書約2000点である。

朝鮮研究者として造詣の深い河合弘民氏は、1874(明治6)年に生まれ、1898(明治31)年東京帝国大学文科を卒業、各地の中学校で教鞭をとり、1907(明治40)年東洋協会専門学校京城分校に教頭として赴任している。

東洋協会専門学校在任中、朝鮮史、特に李朝の財政に関する研究に没頭し、その研究資料として朝鮮の文書をはじめ参考典籍を各方面に買い求め収集した。

1916(大正5)年8月に「李朝税制に関する研究」で文学博士の学位を得、その後協会専門学校本校で教授の職にあったが、1918(大正7)年47歳で病のため夭折した。

河合氏収集になるこれら典籍、古文書等資料は、氏の逝去後同じ朝鮮史研究者である元本学文学部教授今西龍氏の紹介により京都大学が購入した。

河合文庫中の典籍類は活字印本が大部分で、朝鮮活字印刷の歴史を実物でもって例示することができるものである。

その多くは木活字であるが、それ以外にも「西坡集」1729年の後期芸閣印書體字版(鉛活字版)があり、「文苑叢書」1787年の再鑄韓構字版(行書銅活字版)等がある。

これら典籍類は1970年から1971年にかけて、田川孝三(当時東洋文庫研究員)、藤本幸夫(当時京都大学大学院、現富山大学教授)の手で所蔵目録が作成され、また1993年にはこの目録を手がかりに千成均大学名誉教授、李、朴両文化財専門委員、金韓国書誌学会幹事等編纂の『海外典籍文化財調査目録—河合文庫所蔵韓国本—』が刊行されている。

文庫中の古文書類は土地、家屋、物件等の売買に関するもの、公米、公木に関するもの、外交及び外国事情に関するもの、貢物等に関するもの、その他多数約2000点、時代的には1397年から1912年頃までのものが収蔵されているが、特に李朝の財政に関する資料は豊富である。

雑誌・特殊資料掛

